

# 大牟田市立明治小学校

## 1 本校のESDの特徴

本校は、SDG s 目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」を重点に掲げ、目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標13「気候変動に具体的な対策を」を意識したエネルギー環境教育を展開している。第1学年から第6学年までの全学年でエネルギーに関する体系的なカリキュラム（学びのカレンダー）を作成し、エネルギー環境教育を中心としたESDに取り組んでいる。そして、エネルギーや自然・環境への関心を深め、「省エネ・省資源」「自然・環境の保全・美化」を自分事として実践すると共に、学びを発信できる子どもを育てることを目指している。

第5学年では、中谷医工計測技術振興財団の科学教育助成を受け、大牟田市内の5つの小学校（玉川小学校、上内小学校、吉野小学校、中友小学校）が協働して、有明海につながるそれぞれの地域を流れる川の調査を行い、5校合同環境・川サミットを開催し、分かったことや考えたこと・共同実践していくことについて交流している。第6学年では、地域の企業に発電の仕組みやエネルギーに関する出前講座を開催していただき、地域と共同したESDの取組を進めている。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	単 元 名		内 容
1年	はなややさいとなかよし 【5~9月】	(生活科)	・緑のカーテンづくり
2年	おいしい野菜をそだてよう 【5月~11月】	(生活科)	・腐葉土を使った野菜づくり
3年	めざせエネルギー博士 【9月~12月】	(総合的な学習の時間)	・エコクッキング
4年	くらしの中のエネルギー 【4~9月】	(総合的な学習の時間)	・エコチェックシートの取組 ・壁新聞作り
5年	ぼくたち、私たち環境探検隊 【6~11月】	(総合的な学習の時間)	・堂面川の水質・生き物調査 ・科学教育振興プログラム実践
6年	エネルギーの町 大牟田 【4~10月】	(総合的な学習の時間)	・大牟田世界遺産見学 ・壁新聞づくり ・GT 招聘授業（九州電力） ・GT 招聘授業（九州ガス圧送）

## 3 特徴的な活動事例の紹介

(事例1) 第1学年（生活科）

(1) 単元名 はなややさいとなかよし

(2) ねらい 自然への親しみとエネルギーを大切にする心情を育てる。

(3) 実践の展開

琉球あさがおを栽培し、「緑のカーテン」を作った。緑のカーテンの内側は、エアコンを使わなくても涼しく感じることから、自然のよさを感じることができた。

子ども達は、「緑のカーテンがあると涼しく感じる事ができてうれしい。」と、学びの感想を述べていた。





【緑のカーテンで涼む子ども達】



【緑のカーテンに水やりをする子ども達】

(事例2) 第5学年(総合的な学習の時間)

(1) 単元名 ぼくたち、私たち環境探検隊

(2) ねらい

- 川の環境を守ることに ついての課題をもち、解決に向けて行動する。
- 川の水質検査・生き物調べを通して分かったことや考えたことをポスターにまとめ発信する。
- 市内の他校との意見交流を通して、自分の生活を見直し、ふるさとの川や海を守るために自分たちにできることを考え実践する。



(3) 実践の展開

校区を流れる堂面川にごみがたくさんあることから、川の様子を調べるといった課題を設定した。課題の追究場面では、上流と下流での調査活動を通して、下流と上流に住む生き物や川の汚れの違いがあり、川を汚す主な原因が生活排水だということに気付いた。G Tと一緒に透視度計やCODパケットを使って、科学的に汚れの違いを知ることができた。

そして、有明海につながる川が流れる大牟田市内の他の学校(玉川小学校・上内小学校・吉野小学校・中友小学校)と「5校合同環境・川サミット」を開催し、堂面川の環境を守るために自分たちにできることを話し合った。

有明海を守っていくために、学校や地域の人々に地域の川を守るよう呼びかけるポスターを作り、共同実践を行っていくこととなった。



【5校合同川サミットでの発表】

#### 4 本年度の成果と課題

○成果

- ・各学年の発達段階に応じた、体系的なカリキュラムに沿って取組を行ったことで、くらしを支えるエネルギーに興味をもち、「エネルギーを大切にする」意識を高めることができた。
- ・ユネスコスクールの日の行事の際に、各学年の学びの紹介をすることで1年生から6年生の学びが繋がっていることを子ども達が確認することができた。

○課題

- ・「ESD 学びのカレンダー」を校内の目立つところに掲示し、各学年の学びが繋がっていることを教師や児童に日頃から意識させていく必要がある。